

個別施策

数値目標

成果目標

一次～三次までの周産期医療機関が連携し、県全体をカバーできる周産期医療体制を確保
症例検討会の開催など、各医療機関におけるハイリスク分娩等への対応力の更なる向上を支援
山形大学医学部と密接に連携を図りながら、修学資金貸付を行うなど産婦人科医及び小児科医（新生児医療担当医）の確保
産婦人科医及び小児科医（新生児医療担当医）を対象とした手当の支給など医療機関が行う勤務医の処遇改善の取組を支援
市町村における産前・産後のフォローが適切に行われるよう県（保健所）、市町村及び医療機関は特定妊婦等の情報を共有し、連携を強化
高度専門的な周産期医療体制を維持・確保するため周産期母子医療センターの運営を支援
引き続き常時対応が可能な周産期救急搬送体制を確保
災害時小児周産期リエゾンを養成し、災害時の体制を維持
妊婦が必要な回数の妊婦健康診査を受けられるよう支援

NICU病床数 (人口10万対)	
現状値	目標値
2.7床 (R2)	2.7床以上 (R11)
産科医及び 産婦人科医の数	
現状値	目標値
95人 (R2)	95人以上 (R10)
新生児専門医数	
現状値	目標値
8人 (R5)	11人以上 (R11)
母体・新生児県外搬送率	
現状値	目標値
2.3% (R4)	2.3%以下 (R11)
NICU・GCU長期 入院児数(人口10万対)	
現状値	目標値
0.3人 (R3)	0.3人以下 (R11)
災害時小児周産期 リエゾン委嘱者数	
現状値	目標値
28人 (R5)	38人 (R11)

新生児死亡率(出生千対)	
現状値	目標値
1.2 (R2-R4平均) ※全国0.8 (R2-R4平均)	全国の過去 3年の平均 以下

周産期死亡率(出生千対)	
現状値	目標値
3.8 (R2-R4平均) ※全国3.3 (R2-R4平均)	全国の過去 3年の平均 以下

妊産婦死亡率(出生10万対)	
現状値	目標値
0.0 (R2-R4平均) ※全国3.1 (R2-R4平均)	全国の過去 3年の平均 以下